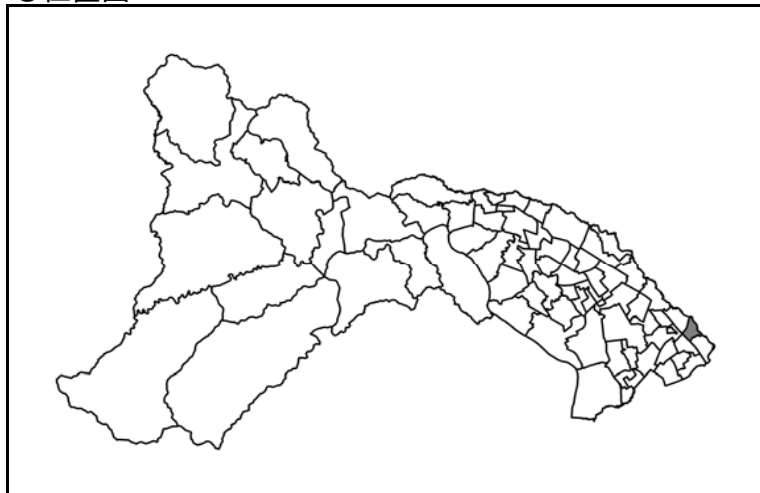


○地区を構成する町丁

【南区】上鶴間本町3丁目～6丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野南(町田ハイツB地区, 自治会法人谷口)

○地区概況

北東端に沿って境川が流れており、境川沿いは地盤が低い。地区の南西端沿いを国道16号が通り、北部を県道51号町田厚木線が横断している。北西端は小田急小田原線に沿う。地区外であるが、北側に町田駅、西側に相模大野駅がある。地区内は主に住宅地となっているが、建物の密集度は低く農地や空地が多い。

○建物数・人口

建物		人口	
区分	棟数	区分	人数
木造(昭和55年以前)	217 棟	0～4歳	435 人
木造(昭和56年以降)	487 棟	5～64歳	7,547 人
非木造(昭和55年以前)	48 棟	65歳以上	1,366 人
非木造(昭和56年以降)	258 棟	合計	9,348 人
合計	1,010 棟		

○所見

- ・最も近い広域避難場所は西側の別の地区にある相模女子大学一帯である。ここへ避難するには、国道16号や小田急小田原線を横断することになる。
- ・町田駅と相模大野駅付近では、通勤時等に不特定多数の人が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	谷口
病院等	あおき整形外科
主な災害時要援護者施設	グランドマスト町田
幼稚園、保育園	谷口幼稚園, 谷口保育園
学校、大学	谷口小学校, 谷口中学校
避難所	※谷口中学校, 谷口小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	谷口中学校, 谷口小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

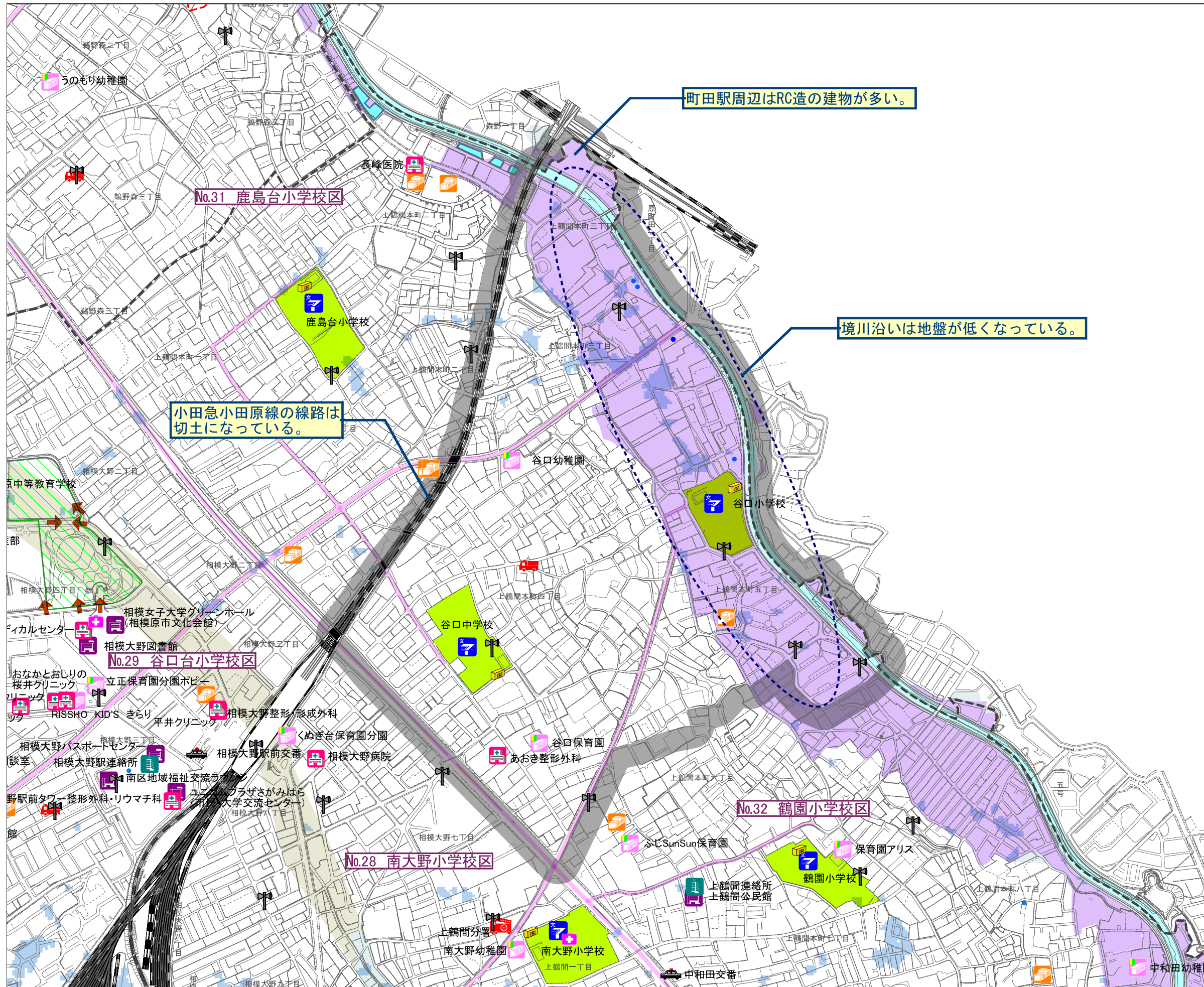
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	50 棟	5.0 %	2 棟	0.2 %	8 棟	0.8 %
建物焼失	3 棟	0.3 %	0 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	3 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	30 人	0.3 %	2 人	0.0 %	6 人	0.1 %
重傷者	4 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	23 人	0.3 %	4 人	0.0 %	10 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	222 人	2.4 %	22 人	0.2 %	56 人	0.6 %
避難所避難者(1週間後)	833 人	8.9 %	235 人	2.5 %	451 人	4.8 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■
土砂災害	■■■■
地震による地盤災害	■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■

○近年の主な災害履歴

平成 3年 9月19日 床下浸水2戸、床上浸水8戸
平成20年 8月28日 床下浸水1戸



凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:7500

